

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2018年4月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 14日、セメ・ポジ市ジェファにおいて、アジャボン氏は、現政権に反対する政党間同盟である「民主主義防衛連合(Coalition pour la défense de la démocratie)」の立上式を行った。ヤイ前大統領、ソグロ元大統領らも出席した。

#### 【外政】

- 6日、ニアメにおいて、タロン大統領は、マハマドゥ・ニジェール大統領を表敬訪問し、両国を結ぶコトヌ-ニアメ間鉄道改修計画を中心に意見交換をした。
- 22日、ワシントンにおいて、国際通貨基金(IMF)及び世界銀行(WB)会合が実施され、汚職対策をテーマにしたパネルディスカッションにビオ・チャネ計画・開発大臣やラガルド IMF 長官らが出席した。

#### 【経済】

- 3日、ドスウイ農業・畜産・漁業大臣は、国営放送(ORTB)で、2016年からのタロン政権2年間のベナン農業についてその成果を強調した。昨年の綿花の生産量は過去最高を記録し、コメの生産量は25万トンを超えた。カシューナッツについては、ベナン経済第3の柱とすべく、12万トンの生産量を、2021年には30万トンを目指し、同品目の加工業についても、現在の17%から、50%を目指とする旨等述べた。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 9日、2018年第一次通常国会が開会した。現国民議会議員にとっては、2015年より開始された今次国会は4年間の任期、計8回行われる通常国会のうち6回目となる。開会セレモニーには、ニジェール、トーゴ及びブルキナファソの国会議長が参加した。(9日、La Nation 紙)
- ・ 14日、セメ・ポジ市ジェファにおいて、アジャボン氏は現政権に反対する政党間同盟である「民主主義防衛連合(Coalition pour la défense de la démocratie)」の立上式を行った。ヤイ前大統領、ソグロ元大統領らも出席した。(16日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 18日、ジョベヌ法務大臣は記者会見で、学校給食の管理が不適切であると、17人の小学校校長を罰することを発表した。(19日、La Nation 紙)
- ・ 22日、タロン大統領は、仏メディアに出演し、自身の大統領2期目及びコトヌ-ニアメ間鉄

道改修計画等について言及した。(23日, La Nation 紙)

- ・ 30日, 昨年11月より行われた国勢調査(Ravip)の登録最終日を迎え, 多くの未登録市民が登録所に押し寄せた。(5月2日, La Nation 紙)

#### 【外政】

- ・ 6日, ニアメにおいて, タロン大統領は, マハマドゥ(M. Issoufou MAHAMADOU)ニジェール大統領を表敬訪問し, 両国を結ぶコトヌ-ニアメ間鉄道改修計画を中心に意見交換をした。(9日, L' économiste 紙)
- ・ 9日, アベノンシ外務・協力大臣は, ベネズエラのプリメンタル(M. Yuri Alexandre PRIMENTAL)アフリカ担当外交副大臣と会談を行った。外交・公用旅券所持者の査証の相互免除, また, 麻薬取引に関して2つの協定が結ばれた。加えて, 副大臣滞在中には, ベナン人を対象としたベネズエラの大学への奨学金供与に関する協定が結ばれる予定である。(10日, La Nation 紙)
- ・ 19日, アベノンシ外務・協力大臣はマルタン(M. Stephan MARTIN)仏ケ・ブランリー美術館長と会談し, 文化遺産及び観光分野での協力に関して意見交換を行った。ホメリ観光・文化・スポーツ大臣及びブルモ(Mme Veronique BRUMEAUX)在ベナン仏大使が同席した。マルタン館長は, 展示, 美術品保存, 修復作業及び研修分野で協力の可能性がある旨述べた。(24日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ワシントンにおいて, 国際通貨基金(IMF)及び世界銀行(WB)の会合が実施され, 汚職対策をテーマにしたパネルディスカッションにビオ・チャネ計画・開発大臣, ラガルド IMF 長官及び3か国の閣僚が出席した。(25日, L' Evénement Précis 紙)

#### 【治安】

- ・ 3月19日, コトヌ空港にて, センザンコウの鱗513Kgを密輸しようとした疑いで, 中国人1人を含む3名が逮捕された。(5日, Le Matinal 紙)
- ・ 16日朝4時, コトヌ市ダントツパ市場内ポジ(Kpodji)地区において, 火災が発生した。この火災により, ベナン自治市場管理会社(Sogema)の発表で4, 000平方メートル, 消防隊の発表で2, 000平方メートルの被害が出た。原因は捜査中である。(17日, La Nation 紙)
- ・ 16日夜, コメ(Comè)市のコトヌ-ロメ間幹線道路において, 乗用車3台が絡む事故が発生し, 全車両が焼失した。死亡者はいなかった。(17日, La Nation 紙)
- ・ 16日, ボイコン(Bohicon)市において, 路上での燃料販売者がバイクタクシーに給油を試みた際, 別のバイクが接触し, 販売していた20歳前後の女性が一部火に包まれ保健センターに搬送された。バイクは全焼した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 検事総長及び共和国警察長官は, 法務省において記者会見し, 3月末にベナン全土で開始したサイバー犯罪及び儀式犯罪取り締まりオペレーションの結果, これまでに被疑者456名を逮捕又は起訴したと発表した。(23日, La Nation 紙)
- ・ 27日, バニコアラの W 公園敷地内において, 周辺住民が放牧していた牛2頭がライオン

- に補食された事に対する報復で、ライオン3匹を毒殺した。(30日, La Nation 紙)
- ・ 27日, サベ(Savé)及びケトゥ(Kétou)間の集落において、農民がプル族遊牧民に銃や鉞で襲撃された。これにより、死者6名、重傷者4名、家屋18棟が焼失する事件が起きた。右に先立ち、26日に農民とプル族遊牧民の間で争いが起き、遊牧民側に2名の死者がでており、その報復として、起きた事件とみられている。(30日, La Nation 紙)
  - ・ 28日, カンディ(Kandi)市において、3名の死体が発見された。1人目は30歳前後のプル族と見られる男性で、駐車場で発見され、2人目は約10年間、同市で生活している60歳前後のブルキナファソ人、3人目は交通事故により死亡したと思われる男性がトラック内で発見された。(30日, Le Matinal 紙)

#### 【経済】

- ・ 3日, ドスウイ(M. Gaston DOSSOUHOU)農業・畜産・漁業大臣は、国営放送(ORTB)で、2016年からのタロン政権2年間のベナン農業についてその成果を強調した。昨年の綿花の生産量は過去最高を記録し、コメの生産量は25万トンを超えた。カシューナッツについては、ベナン経済第3の柱とすべく、12万トンの生産量を、2021年には30万トンを目指し、同品目の加工業についても、現在の17%から、50%を目指とする旨等述べた。(4日, Le Matinal 紙)
- ・ 3日, チュニジアのチュニスにおいて、ビオ・チャネ計画・開発大臣はイスラム開発銀行総裁と会談し、コトヌーニアメ間道路改修工事計画におけるベルブエ(Béroubouay)-カンディ(Kandi)-マランヴィル(Malanville)間169.4Km, 総工費780億FCFAの計画に関わる協定を結んだ。(5日, Le Matinal 紙)
- ・ 6日, ベナン NGO の「Bénin Ville propres」はコトヌ市の主要幹線道路に衛生・公害対策として、公共ゴミ箱を設置する計画の開始式典を開催した。トブラ・リトラル県知事が参加した。(9日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 米国企業の Mercer が発表した「クオリティ・オブ・リビング調査2018」によると、コトヌ市がアフリカで18位、世界で182位にランクインした。西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)地域ではダカールに次ぐ2位であった。(9日, L' économiste 紙)
- ・ 11日, 閣議において、トラクター480台を1台あたり700万 FCFA で農業生産者に販売する事を決定した。あわせて無料で15日間の研修も行われる。購入者は3年で返済することとなっている。(12日, La Nation 紙)
- ・ 25日, コトヌにおいて、世界知的所有権機関(WIPO)主催、ベナン政府及び国家産業財産権庁の協力、日本の特許庁の支援で「地域ネットワーク拡大に関するセミナー」が開催された。(26日, L' économiste 紙)
- ・ 国境なき記者団の発表によると、ベナンの報道の自由度は180か国中84位であるとし、昨年の78位から順位を落とした。(26日, Le Matin Libre 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 7日, 中国文化センターにおいて、中国で開催される第17回「漢語橋」世界大会のベナン

予選会が行われた。138人の候補者の中、最終6名がスピーチし、優勝者には、ノートパソコンが供与され、準優勝には、本大会に見学者として参加する名目で旅行費が支給された。(9日, La Nouvelle Tribune 紙)

- ・ 20及び21日、ブルキナファソにおいて、アフリカゾーン3地区空手選手権が開催された。ベナンは金メダル6個を含む計20個のメダルを勝ち取り、第3位であった。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 28日、中国文化センターは、国際太極拳デーの一環でコトヌ市内の友好スタジアム (Stade de l'amitié)において、武術披露会を開催した。(30日, La Nation 紙)